

マグニチュードと震度

マグニチュードとは…地震のエネルギーの大きさを表します。

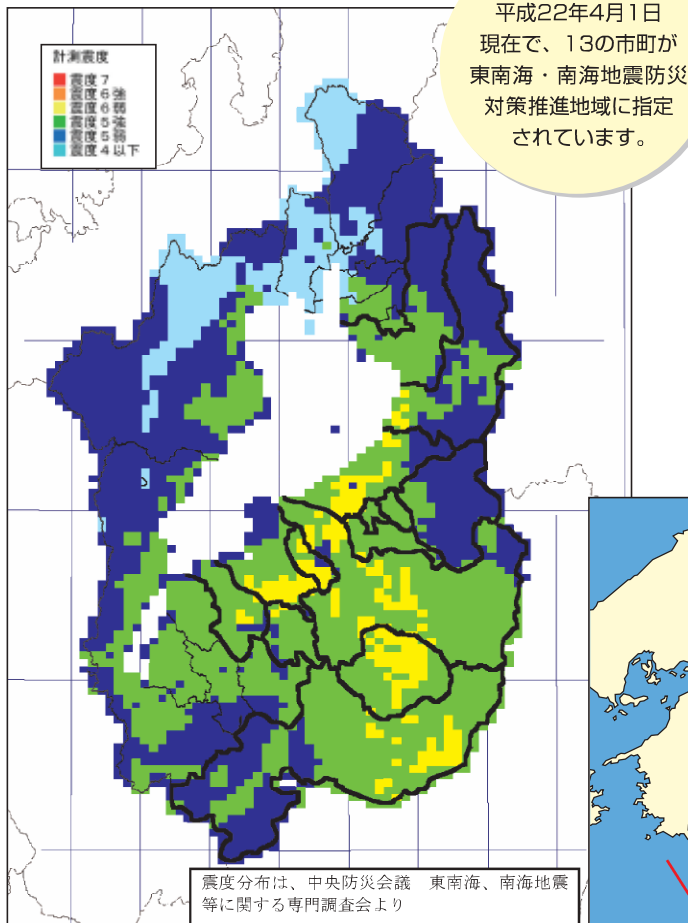
震度とは…ゆれの強さを表します。



震度階

震度 0	●人はゆれを感じない。	震度 5弱	●棚の食器類や書棚の本が落ちることがある。 ●窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●地盤に亀裂や液状化が生じ、落石やがけ崩れが発生することがある。
震度 1	●屋内にいる人の中には、わずかにゆれを感じる人がいる。	震度 5強	●半分以上の人が行動に支障を感じる。 ●家具や自動販売機が倒れることがある。 ●耐震性が低い住宅では、壁などにひび割れや亀裂が入ることがある。
震度 2	●屋内にいる人の半分以上が、ゆれを感じる。 ●つり下げた電灯などが、わずかにゆれる。	震度 6弱	●立っていることが困難になる。 ●ドアが開かなくなることがある。 ●耐震性が低い木造住宅では、瓦が落下することがあり、倒れるものもある。
震度 3	●屋内にいる人のほとんどが、ゆれを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少しゆれる。	震度 6強	●はわないと動くことができない。 ●家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性が高い住宅でも、壁などにひび割れや亀裂が入ることがある。
震度 4	●ほとんどの人が驚く。 ●つり下げた物は大きくゆれ、棚にある食器類が音を立てる。 ●高速道路や鉄道などで規制や運転見合わせがある。	震度 7	●動くこともできず、飛ばされることもある。 ●家具のほとんどが移動して倒れ、飛ぶこともある。 ●耐震性が高い住宅でも傾くことがある。

東南海・南海地震の震度予想図



地震発生確率とマグニチュード

	今後30年以内の地震発生確率	マグニチュード〔地震の規模〕	
東南海地震	70%程度	8.1前後	8.5前後
南海地震	60%程度	8.4前後	
琵琶湖西岸断層帯による地震	最大3%	最大7.8程度	
兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)	0.02~8% (発生直前の評価)	7.3	

(2011年1月1日現在)

